

協働のまちづくり活動支援事業 活動報告（中間報告）

実施事業名	大麻銀座商店街 DE おおあさBASE再構築事業		
団体（グループ）名	こども支援ワーカーズ みんなのいえ	代表者名	鈴木 律子

地域の課題 ① [課題を何と考える事業を行った（行う）のか]	不登校児童が多い現在、こどもが安心していられる居場所が十分ではないと考え、こどもとその保護者のための居場所づくりを目指して令和6年から「おおあさBASE」を開設し、さまざまな企画の開催などを行いつつ、定着しつつあった。しかし、令和8年1月の大麻銀座商店街の被災により居場所が喪失してしまった。「おおあさBASE」の再起とより一層安心して自由に過ごせる場所を目指し、商店街内の場所や人と連携しながらの企画や居場所の”みんなのいえ”の復活を目指す。
いつ ② [事業実施日時]	・おおあさBASE 約38回実施予定のところ18回実施済み ・体験交流企画：年10回予定 実施済み：5/28（パン調理体験）、6/9（お花体験）、6/30（アート体験）9/15（流しそうめん）、10/20（アイヌ文様切り紙体験） 今後の見込み：10/27（パソコン体験）、11月パステルアート体験、12月スイーツ作りなど ・7月31日 一般社団法人北海道ブックシェアリングさんによる図書の提供と書架づくり 絵本・児童書などを中心に選書した本を、施設内に3カ所設置してもらう。低学年用、高学年用、おおあさベース利用中学生向けの3つの書架に配架してもらった。
どこで ③ [場所]	5月～7月 みんなのいえ再建前はお隣の「わたなベストア」さん 5/26 調理体験は東地区センター 6/30とりむしさかなさん 7月7日より、再建後のみんなのいえ
誰のために ④ [対象者]	不登校などの悩みを抱える子どもとその保護者、大麻銀座商店街の地域の人たち 不登校経験者の高校生など
実施内容・進捗状況 ⑤ [どんなことをした（する）のか]	・通常はボードゲームで遊んだり、おしゃべりをしたり、自由に過ごしている。後半に英語の勉強に取り組む姿もみられる。 ・パン調理体験ではピザパンを作り、みんなでランチをした。 ・お花体験ではお花を飾るときの組み合わせ方を教えてもらいながら、花束を作成。 ・アート体験ではアクリル絵の具を使ったデザイン作成。 ・流しそうめんはみんなのいえ前で実施。本物の竹を使い、そうめんやミニトマトなどを流して楽しんだ。商店街の方も見守ってくれた。

自由記載欄（事業に関連する写真やチラシ、PRなど）

次ページ参照

協働のまちづくり活動支援事業 活動報告（中間報告）

7/13 みんなのいえ再建

8/22 みんなの自習室リスタート

毎週火曜日

10:00～12:00

（長期休みはのぞく）

無料・予約不要

「おおあさBASE」は学校や家以外の居場所を作りたいと、江別市協働のまちづくり活動事業の支援を受け、2024年度よりスタートしました。

今年度も体験企画を実施予定です。調理、アート、お花、パソコンなどを企画しています。

学校に行っていない子どもたちが気軽に来れる場所を目指しています。

場所 わたなベストア

銀座商店街内 みんなのいえ 隣り

みんなのいえ改装中により、
場所がかわります

体験企画の際も場所が変更になります
都度ご確認ください

夏休み前の予定

5/12 5/19 5/26

6/2 6/9 6/16 6/23 6/30

7/7 7/14 7/21

5/26はペン調理体験を予定
場所は東地区センターです